

サポート企業が 豚肉1頭分贈る

J2水戸を支援

サッカーJ2水戸ホーリーホックのトップチームの昼食をサポートするプロジエクト「ミト・ミートスタイル」は10日、県銘柄豚「ローズポーク」1頭分をクラブに無償提供した。プロジエクトは不動産総

合コンサルタントのユーハイム（水戸市内原、湯田圭一社長）と総合食肉卸のストアー谷津（同市内原町、谷津泰宏社長）による。谷津社長は「ビタミン豊富なローズポークを食べ、来るべき試合に向け活躍する姿を楽しみに待っています」とエールを送った。

城里町小勝のアツマレで、14日の練習後の昼食時にローズポークのグリルが和風おろしソースで振る舞われた。細川淳矢選手（35）は「ジューシーで軟らかく、おいしいお肉です。元気が出ます」と料理を頬張った。

無償提供されたローズポークを使った昼食を取る選手ら＝城里町小勝（クラブ提供）

